

— 動き出したダイバーシティの取組み —

2018年度JATA会長表彰奨励賞を受賞 ANAセールス株式会社

「もつと楽にもつといい仕事を」

2018年度JATA会長表彰の「働き方・休み方改革部門」で、ANAセールスが奨励賞を受賞しました。

働き方・休み方の改革は社会的な課題であり、旅行業界でもその推進が求められています。JATAは、会員各社の優れた取り組みを表彰して広く周知し、有給休暇の取得促進や女性・高齢者を含む多様な人材を一層活用することを目指します。

JATAでは、ANAセールス会議やメールに詳細なルールを策定



ANAセールスでは、働きやすさの改善に向けて、社員の席を固定しないフリーアドレス制を一部の部署で導入し、業務効率の向上などを目指しています

による「働き方改革」に向けてのワークルール設定」について、「取り組みそのものはオーストリア内容ながら、働き方・休み方改革に着手する他社が模倣しやすい取り組みが列挙されており、また、継続性があり無理のない取り組み」と評価しています。

ANAセールス総務人事部総務人事課の向井猛マネジャーによると、「もつと楽に、もつといい仕事へやり方を変えよう。」をテーマに2017年5月に設定されたASXワークルールは、「ANAセールスで業務を行う上での原則」として位置づけられるもので、業務関連と労働時間管理の2つを大きな柱に、業務関連では会議・メール、労働時間管理では時間外労働（残業）・時間の制限に関するポイント・現認対応などについて、詳細なルールが策定されました。

例えば、会議のワークルールとしては、会議招集に際して「会議の目的／ゴール」を必ず明記すること、参加者については「MUSTメンバー」で実施。その他の関係者へは議事録で共有、タイムマネジメントとして「原則5分前に終了。残りの



ANAセールス総務人事部総務人事課の向井猛マネジャー(右)と川手大志氏

5分は、移動や片づけに充てよう」といった項目が示されています。

さらに、今年1月のワークルール改定では、会議の設定日について「毎日〆隔日」「毎週〆隔週」「毎月〆隔月」の再検討や「10人程度の意見集約なら、会議ではなくグループドラッグ上で、資料共有&各自意見を共有」といった手法の変更なども加えられました。

社員の自発的行動を促す環境整備へ

また、会議については、「ペーパーレスのためPC持参やプロジェクト利用」「議事録は、会議中に作成し、その場で確認」「予約済みだが、使用されていない会議室は10分経過したら利用OK」など、合理化や効率化を徹底するワークルールも盛り込まれています。

ASXワークルールは、業務関連

と労働時間管理という大きな柱に加えて、フレックスタイトム制度やテレワーク制度を紹介することで、既存制度の運用による「働き方改革」浸透に向けた社内意識改革も促しています。

テレワーク制度を活用する社員も徐々に増加しており、「より計画的に仕事をしようとする意識の醸成」や「かけた時間」ではなく「成果」を重視する意識の促進、「業務プロセスなどの見直しや情報のナレッジ化の促進」といった目的の達成に向けて効果も現れているようです。

向井マネジャーは、「働き方改革については、生産性の向上と働きやすさの改善という2つの意味合いがあり、特に、働きやすさの改善については、社員の席を固定しないフリーアドレスやノマドワーキング（IT機器を活用して様々な場所です仕事をする新しいワークスタイル）にも着手している」と説明。「会社として働き方改革を進めているが、社員一人一人が身近な問題として取り組んでいかないと、望ましい方向には進んでいかないと。管理職だけにとどまらず全ての社員に理解を深めてもらうことで、会社や部署としての指示や要請の有無に関わらず、組織全体の機能が高まることを意識して個々人が自発的に行動できるように環境を整えたい」と意欲を示しています。